

ふれあい記録

実施日：平成 31 年 4 月 18 日

当番者名：西村寿文、柴崎幸治

コース名：独自コース 69 番 「矢倉岳(870m)から足柄峠」 (通算回数 第 150 回)

天 候：曇り(霧)

参加者名：相川 勲、岩崎宗郷、江口正彦、小俣悦男、神谷順子、柴崎幸治、新海 昭、
田野実裕之、西村寿文、根本邦子、船橋エイ子、細矢清志、堀井克子、宮原宏至
山腰策次郎、
<ビジター>市瀬英雄、鶴岡重典、野口和夫、林 洋、山奥利光
計 20 名 (内、男性 16 名 女性 4 名) (五十音順)

交 通 (時刻)：<往路> (相鉄線)横浜 7:09 発→7:43 着 海老名 (小田急小田原線) 7:54 発→
8:32 着 新松田
(箱根登山バス) 新松田駅 8:45 発→ 9:05 着 矢倉沢バス停
<復路> (箱根登山バス) 地蔵堂バス停 15:40 発→16:17 着 新松田駅 [解散]
(小田急小田原線) 新松田 16:27 発→16:59 着 海老名 (相鉄線)17:04 発
→17:37 着 横浜

コースタイム (時刻)：

9:25 着 矢倉沢公民館 [準備体操 後] 9:40 発→水道タンク跡→11:30 着 矢倉岳山頂
[昼食 11:30~12:00] 12:00 発→山伏峠(清水越)→13:20 着 万葉公園を歩き 13:45
着 足柄峠(関所跡、聖天堂、 [オレンジ・コーヒータイム 13:45~14:10] 14:10 発
→ 足柄古道等を通り →15:20 着 地蔵堂バス停

みどころ： 矢倉岳は箱根の駒ヶ岳、金時山、明神ヶ岳の北に位置する。独立峰的な山容は堂々としていて威厳さえも感じる。山頂からは箱根の外輪山の山々、富士山が眺望でき、山野草も豊富な山である。矢倉岳山頂から山伏峠側に下り、峠からは足柄万葉公園への山道を進むと右山腹に万葉公園が広がる。この公園は万葉集に足柄古道が詠まれたことに由来しての整備された公園で、樹木毎に読まれた句碑等が建てられている。足柄峠は関所跡、聖天堂等の史跡があり、峠からは石畳も残る足柄古道を下った。

自然観察： バスを矢倉沢で降りるとまさに新緑の世界となり、矢倉沢公民館のある本村からはお茶畑の横の道を通り、杉や檜の山道へ、そしてクヌギ、カエデ等の山道を登る。野にはスマレなどの野草の花が咲き、山頂付近の樹々はまだ新芽の時期であった。
万葉公園には桜の花がまだ残っており、足柄峠にはミツマタ、ミツバツツジの花が咲き、足柄古道の道辺には桜の花が盛り、地蔵堂あたりにも桜は残っていた。

特記事項： 矢倉岳の登はん路比較的整備されていて、迷うことはまずない、ただ、標高 870m とはいえ、約 1 時間の急登を強いられ、山頂までは約 2 時間を要する。山頂からの眺めは、生憎、富士山には一部雲がかかり、素晴らしい富士山とはいかなかったが、箱根の山々は眺望でき、大涌谷の湯けむりの立ち昇る景も眺望できた。万葉公園ではあまりゆっくり出来なかったが句碑の句の鑑賞等、楽しめた。足柄峠では其々に関所跡、聖天堂などの散策、コーヒータイムをとった。足柄古道は石畳の道も残っており、なかなかの趣だった。